

令和5年11月17日

ちんぺい もっかん
鎮兵^{※1}木簡^{※2}の文字が判明！

福島西道路改築事業に伴う発掘調査（西久保遺跡^{にしくほ}）で出土した、全国初「鎮兵」の2文字が書かれた木簡（9月21日記者発表）について、判別不明だった文字が明らかになりました。

※1 鎮兵 『続日本紀』に記述のある、陸奥国や出羽国を防備するために派遣された兵士
※2 木簡 文字が記された木札

記

1. 木簡の不明文字の判明

文字	「出羽国牒下野国司 鎮兵死□減之状不罪郡郷」 の19文字 ^{※3} （既12、新6、未1）
読み	でわのくに しもつけのこくしにちようす。ちんぺいのし□げんのじょうぐんごうをつみせず
内容	鎮兵が死亡したため、西久保遺跡周辺に留まっていた下野国司と鎮兵に対して、死亡は遺跡周辺の地域に落ち度がない旨 ^{※4} を伝えた出羽国の書状
年代	775年(宝亀6年)～806年(大同元年)奈良時代末から平安時代の初頭

※3 当初は18文字と発表

※4 文献では、各地の国郡は、衛士（都の警護）・防人（大宰府の警護）の療養や死亡に一定の責務があることがわかっていますが、鎮兵も同様の取扱いをしていたことがわかります。

2. 西久保遺跡の性格

- 役所の機能を持つ有力者の居宅跡^{きやたく}^{※5} ※5 居宅跡 屋敷跡のこと
（国司や鎮兵の滞在、食糧や薬の給付、文書作成、使者の派遣ができる施設や機能が想定されます）
- 水辺での儀式の可能性

3. 今後の計画

- (1) 学会発表 11月25日 福島県考古学会（白河市）、12月2日 木簡学会（奈良市）
- (2) 保存処理・レプリカ作成 12～3月
- (3) 速報展示 令和6年4月 じょーもぴあ宮畑

担当：文化振興課 文化財保護活用係
課長 齋藤 係長 新井
電話 024-525-3785（直通）

鎮兵木簡の文字が判明！

1 不明文字の判明



出羽国牒下野国司 鎮兵死□減之状不罪郡郷

(出羽国、下野国司に牒す。鎮兵死□減の状、郡郷を罪せず)



赤外線写真

鎮兵

○赤外線画像により**新たな文字**が判明！

○木簡には19の文字（既12、**新6**、未1）

「出羽国牒下野国司 鎮兵死□減之状不罪郡郷」

読み でわのくに、しもつけのこくしに ちょうす。 ちんぺいのし□げんのじょう ぐんごうをつみせず
出羽国、下野国司に 牒す。 鎮兵死□減の状 郡郷を罪せず

内容 鎮兵が死亡したため、西久保遺跡周辺に留まっていた下野国司と鎮兵に対して、死亡は遺跡周辺の地域に落ち度がない旨を伝えた出羽国の書状

- ・文献では、各地の国や郡は、兵士の療養や死亡に一定の責務があることがわかっていますが、鎮兵も同様の取扱いをしていたことがわかります。

鎮兵木簡の文字が判明！

2 古代の福島とその周辺



<想定されるストーリー>

- ① 下野国を国司と鎮兵が出発
- ② 西久保遺跡周辺で鎮兵が死亡
- ③ 下野国司が出羽国に鎮兵死亡にかかる書状を作成
- ④ 出羽国からの返答文(今回の鎮兵木簡)

<西久保遺跡の性格>

- **役所の機能**を持つ有力者の**居宅跡**
(国司や鎮兵の滞在、それに伴う食糧等の給付、文書作成や使者の派遣ができる施設や機能が想定される)
- **水辺での儀式**の可能性